



明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

エリア8
八幡

遠賀川水源地ポンプ室



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Sites of Japan's Meiji Industrial Revolution:
Iron and Steel, Shipbuilding and Coal Mining
inscribed on the World Heritage List in 2015

日本の近代化を切り開いた八幡製鐵所と 遠賀川水源地ポンプ室

←1910年建設時に設置された
デビー社製トリプルエクспанション
エンジンポンプの設計図
※日本では唯一の導入事例

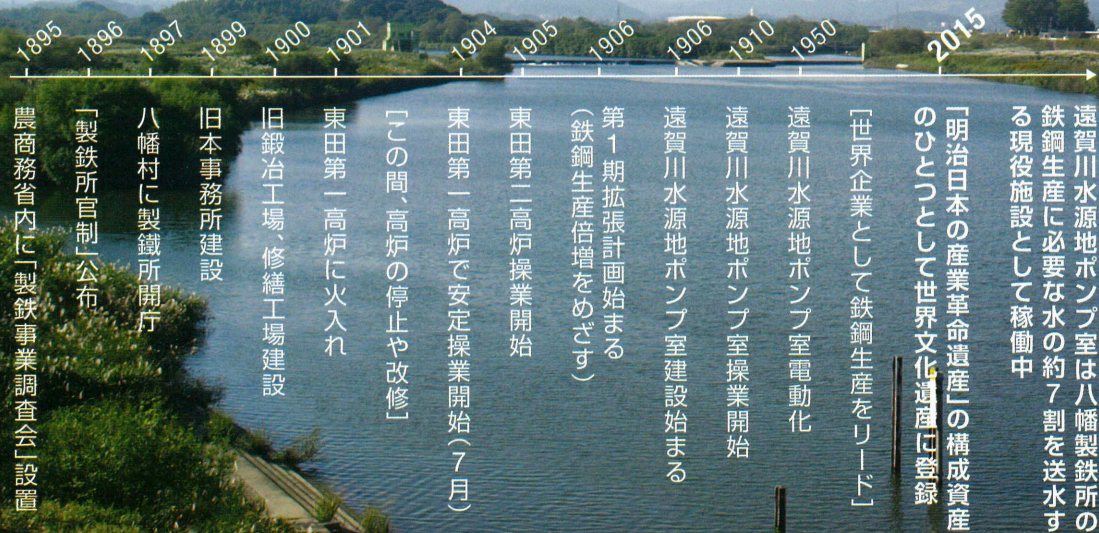
「明治日本の産業革命遺産」の官営八幡製鐵所関連資産は旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場（所在地：北九州市）と遠賀川水源地ポンプ室（所在地：中間市）の4施設で構成されています。

遠賀川の豊かな水量を水源とする遠賀川水源地ポンプ室は、赤煉瓦造りの外観に西洋から伝わった水道施設の建築技術や動力機関の発展史を秘めた施設です。

大正時代には最大で50人規模の従業員を要し、敷地には官舎も設けられていました。

今なお送水施設として稼働する遠賀川水源地ポンプ室は、日本の重工業を支えています。

八幡製鐵所と遠賀川水源地ポンプ室のあゆみ



遠賀川の



北九州市に所在する世界遺産構成資産の3施設（非公開施設のため立入はできません）



八幡製鐵所関連資産全体図



遠賀川水源地ポンプ室周辺図



写真提供：日本製鉄㈱九州製鉄所

遠賀川水源地ポンプ室の建設に携わった人たち

遠賀川水源地ポンプ室は、官営八幡製鐵所の鋼材生産量を2倍とする第一期拡張計画に伴い、新たな水源を遠賀川に求めたことによって1910年(明治43年)当時の遠賀郡底井野村の遠賀川右岸に完成しました。

送水システムの設計監理は、日本近代水道の父と称される中島鋭治東京帝国大学教授。測量や工事の担当は横浜、函館、東京など各地の水道工事に携わった亀井重磨。そして、ポンプ室建屋設計図にサインがある舟橋喜一は奈良帝国博物館(現奈良国立博物館)や迎賓館の工事に携わっています。

遠賀川水源地ポンプ室の建設過程を示す歴史的史料のさらなる調査が進んでいます。

イギリスから輸入されたボイラーとポンプ

遠賀川水源地ポンプ室に導入されたボイラーは、明治時代に国内シェアの大半を占めていたバブコック&ウイルコックス社製。

エンジンポンプはデビー社製の水道施設向け3段階膨張エンジンポンプが設置されました。「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である三池炭鉱には坑内揚水用にデビー社製ポンプが導入され、炭鉱経営を軌道にのせる役割を果たしています。

製鐵所に欠かせない工業用水を送水する重要な施設として、海外で実績のある大型ポンプが導入されたと推測されています。

北九州地域へ飲料水も送っています

官営八幡製鐵所への工業用水だけでなく、当時の若松町や八幡市、戸畑市にも上水道を供給し、都市衛生基盤の向上に大きな役割を果たしました。また、現存する明治時代のレンガ造り送水ポンプ場としては国内最大規模となっています。

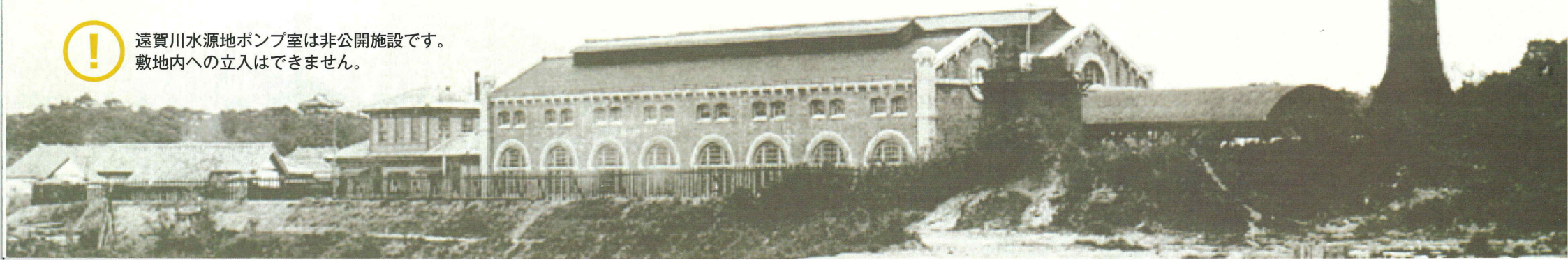
現役の稼働施設

遠賀川水源地ポンプ室は、現在も鉄づくりに必要な水を送水しています。設備類は最新の機器に更新されていますが、ポンプ室が果たす役割は百余年を経て変わっていません。

水が鉄鋼生産を支えた

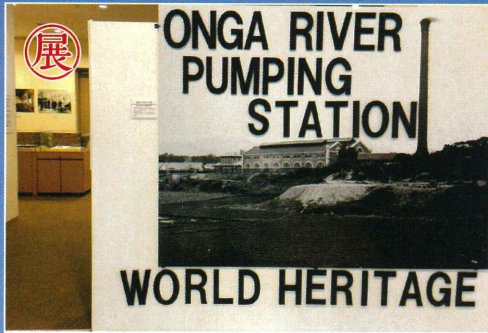


遠賀川水源地ポンプ室は非公開施設です。
敷地内への立入はできません。



遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター

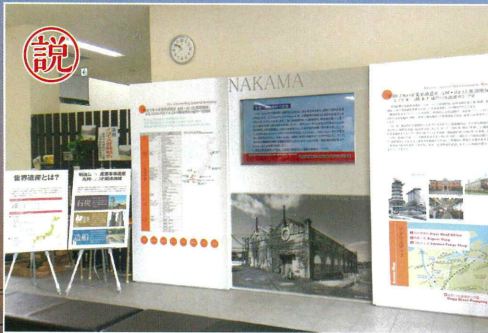
遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンターでは、遠賀川水源地ポンプ室に関する情報を紹介しています。また、中間市歴史民俗資料館や物産館、垣生公園が隣接し、さまざまな楽しみ方ができます。ぜひお立ち寄りください。



遠賀川水源地ポンプ室特別展では、動く蒸気ポンプの映像やポンプ室の古写真などを展示しています



最新の3D計測技術で遠賀川水源地ポンプ室の内部映像を初公開



モニター付解説パネルやDVDで世界遺産を紹介しています



創業当時(1910年)の遠賀川水源地ポンプ室の姿を模型で再現しています

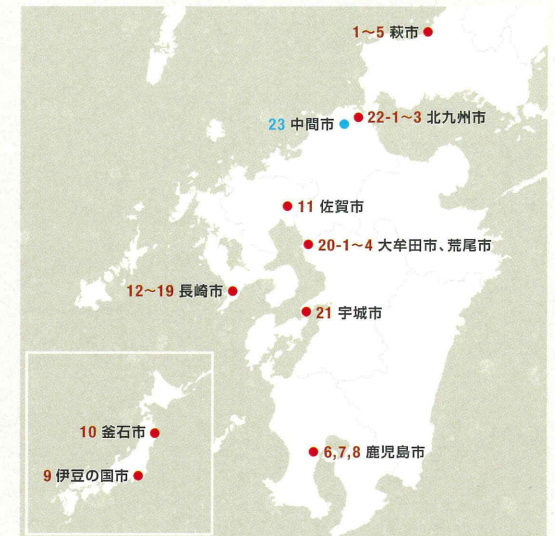


遠賀川水源地ポンプ室の設計図を実際のポンプ室とほぼ同じ大きさに拡大した壁面パネルです
ポンプ室の大きさを目の前で体感できます

明治日本の産業革命遺産 MAP

わが国は、幕末から明治時代にかけて、西洋以外の地域で初めて、かつ極めて短期間のうちに、近代工業化を果たし、飛躍的な発展を成し遂げました。

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、世界に特筆すべき重工業分野での発展過程を示しており、燃料である「石炭」、それをもとに発展した「製鉄・製鋼」、「造船」に焦点を当て、世界遺産に登録されました。



- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 萩反射炉 | 15 同 旧木型場 |
| 2 恵美須ヶ鼻造船所跡 | 16 同 占勝閣 |
| 3 大板山たたら製鉄遺跡 | 17 高島炭坑 |
| 4 萩城下町 | 18 端島炭坑 |
| 5 松下村塾 | 19 旧グラバー住宅 |
| 6 旧集成館 | 20-1 三池炭鉱 宮原坑 |
| 7 寺山炭窯跡 | 20-2 同 万田坑 |
| 8 関吉の疎水溝 | 20-3 同 専用鉄道敷跡 |
| 9 葦山反射炉 | 20-4 三池港 |
| 10 橋野鉄鉱山 | 21 三角西港 |
| 11 三重津海軍所跡 | 22-1 官営八幡製鐵所 日本事務所 |
| 12 小管修船場跡 | 22-2 同 修繕工場 |
| 13 三菱長崎造船所 第三船渠 | 22-3 同 旧鍛冶工場 |
| 14 同 ジャイアント・カンチレバークレーン | 23 遠賀川水源地ポンプ室 |



遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター (中間市地域交流センター内)

開館時間 9:00~18:00
休館日 火曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)
所在地 福岡県中間市大字垣生660番地1
TEL 093-245-4665